

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2004-251882(P2004-251882A)

【公開日】平成16年9月9日(2004.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-035

【出願番号】特願2003-188144(P2003-188144)

【国際特許分類】

G 2 1 K	4/00	(2006.01)
C 0 9 K	11/00	(2006.01)
C 0 9 K	11/08	(2006.01)
C 0 9 K	11/61	(2006.01)
G 0 1 T	1/00	(2006.01)
G 0 3 B	42/02	(2006.01)

【F I】

G 2 1 K	4/00	L
G 2 1 K	4/00	M
C 0 9 K	11/00	B
C 0 9 K	11/08	A
C 0 9 K	11/61	C P F
G 0 1 T	1/00	B
G 0 3 B	42/02	B

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月13日(2006.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- 70 keV以下のエネルギーを有するX線を放出するために備えられたX線管、及び光度計に到達するX線量に従って前記X線管をオン及びオフに切り換えるために前記X線管に結合された光度計を含むX線装置を与える工程；

- 前記X線管と前記光度計の間に対象物を置く工程；

- 前記対象物と前記光度計の間に結合剤のない貯蔵燐光体パネルを有するセットを置く工程；及び

- 前記光度計が前記X線管をオフに切り換えるまで前記対象物、前記カセット及び前記光度計を露光するために前記X線管を活性化する工程

を含む、対象物をX線に露光するための方法であって、前記結合剤のない貯蔵燐光体パネルが支持体(2)上に真空蒸着された燐光体層(1)を含み、前記支持体が500μm～2000μmの厚さを有する非晶質炭素の層(23)を含む方法。

【請求項2】

前記支持体が0.2μm～200μmの厚さの反射性補助アルミニウム層(22)をさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記支持体が前記反射性補助アルミニウム層と前記燐光体層の間に保護補助層(21)をさらに含む請求項1又は2に記載の方法。

【請求項 4】

前記保護補助層（21）がパリレンの層である請求項3に記載の方法。

【請求項 5】

前記燐光体層が針状CsX:Eu燐光体を含み、XがBr及びClからなる群から選択されたハロゲン化物を表す請求項1～4のいずれか一つに記載の方法。